

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和6年度病害虫発生予察防除情報第7号

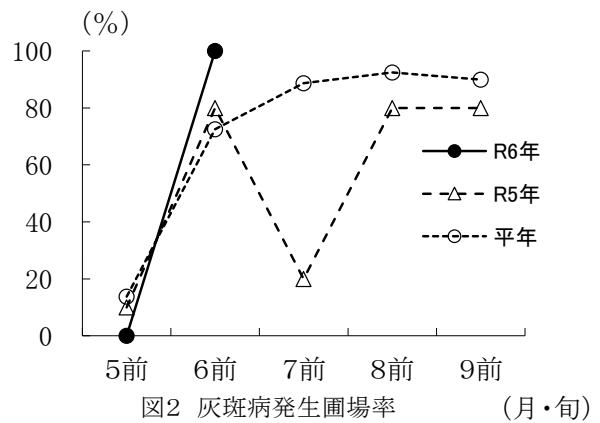
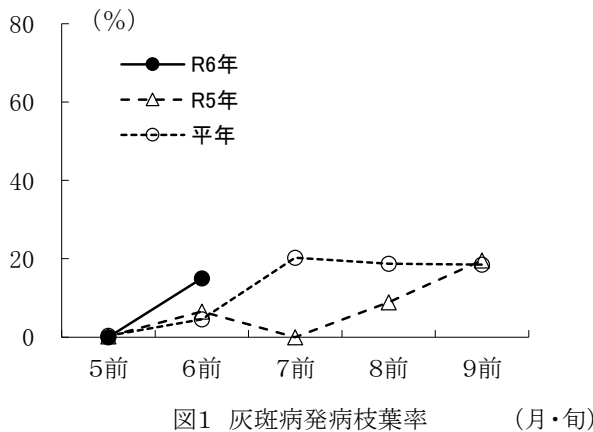
びわ 灰斑病の防除対策について

びわの灰斑病の発生が増加しています。下記の点に注意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

- (1) 6月前期の巡回調査（10筆）の結果、発病枝葉率は15.0%（平年 4.6%）、発生圃場率は100%（平年 72.5%）であった（図1、2）。
- (2) 気象予報（福岡管区气象台、令和6年6月13日発表）によると、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は少ない見込みであり、本病の発生に好適である。



2. 防除対策

- (1) 本病は病斑上に形成された分生孢子が雨水によって飛散することにより感染が拡大するため、夏葉の伸長期に防除を行う。
- (2) 感染予防のため、強風を伴う雨が予想される場合には、カスガマイシン・銅水和剤の散布を行う。

○6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス

: <https://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/nougi/JPP/index.html>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
（長崎県病害虫防除所） TEL：0957-26-0027

